

教育目標	「学園は教える者と、教えられる者とは、相互の信頼によって生かされる精神的な共同体である。」という理念の下、知・徳・体を錬成し、調和ある人間像を確立する。						
経営方針	(1)「自律的な精神」、「思考力と創造的な知性と技量」、「自然愛や人間愛を大切にす豊かな情操」を培う。 (2)「日本人としての美德を育て、実践的な社会性を養うとともに、国際化・情報化社会のフロントランナーとして、社会貢献できるフェアなリーダーとしての資質を培う。」						
本年度重点目標	I 知育の推進 II 徳育の充実 III 健康な身体への育成 IV 豊かな生活の追及 V 家庭地域との連携 VI 生徒募集 VII 教育施設設備の活用						
重点目標	評価項目	令和04年度更新 具体的な方策または項目を評価する具体的な指標	令和03年度の実施状況 期末 R4, 3/2	職員評価	職員コメント ◇:提言 ▲:改善 集計・まとめ 中間 9月	関係者評価	関係者コメント ◇:提言 ▲:改善 集計・まとめ 中間 9月
I 知育の推進	授業の充実と 難関大学進学に 向け啓発・ 学びの自覚向上	① 数・英等で発展学習実施 3grp編成と運行の工夫 英検3/P2/2級指導(放課後プロジェクト時) ② 国・数・英等で反復学習、底上げ推進 ③ 補習補強の柔軟な実施、自己学習力の育成 ICT教育:スタディサプリ活用、ロイロの学級・教科への 導入と活用 ④ 進路指導・講演等進路啓発指導を高校部職員、 外部組織講師※・OBにより実施 ※MIRAI Project構想:企業と提携しキャリア教育推進 ⑤ 学力推移調査結果受取後の学級/学年指導 個別目標設定や情報共有(中高関係職員) ⑥ 授業時数や計画、副教材の見直し ⑦ 学習時間把握(スタディマーカー)と個別/一斉指導、 学習課題調査とFBIによる学校家庭指導環境改善	① 各学年英数の3grp習熟度編成を行い、より目的的に指導し、実力向上を図った。 学習状況や精神的な成熟度を鑑みながらタイムリーに実施した。 ② 先取学習と習熟度編成により反復内容も各グループ工夫しやすくなった。 特に11月以降の学習内容について検討し、より目的のしとしたいと考える。 ③ 放課後指導の内容について新展開すべく諸点検討が続いている。 O/L学習の環境準備がR4年度に向けて進行中。アプリの使用法・運用方法は 要検討である。特に1月J3学年閉鎖時の学習管理にスタディサプリ等有効活用できた。 放課後プロジェクトを2月下旬より始動し学習機会の増加工夫を図った。 ④ 8・3月にJ3進路課長講演、9月にJ2職業講話(海洋講演)、11月に全学年社会福祉 仕事セミナーを実施。規模と機会を縮小さざるを得なかった。 ⑤ 各実力テスト等の結果について情報を共有し、事前事後指導や授業改善に活かした。 ⑥ 副教材の使用についてタイムリーかつ機動的な対応が行われた。目的に合わせ 一層の工夫が求められる。 ⑦ スタディマーカーを試み通年継続した。運用方法をさらに工夫し学習の動機づけと 学校理解に役立てたい。職員の意識づけも引き続き高揚させていきたい。	A 23% B 54% C 11% D 12%	・ きめ細かな授業が実践されていると思う。 ・ 学びに関しては、やられるのではなく、自ら学ぶとする姿勢になるように 取り組んでいる。 ・ 各教員が創意工夫のもと授業を展開している。今年度からは中学1年生・ 2年生がタブレットを持ち始めたこと、各教室にプロジェクターが設置された ことから、ICTを使った授業が行え、生徒が内容を理解するうえで大いに 役立っていると考え。 ・ 生徒自身の夢や目標がはっきりしている。 ◇ 学年が上がると授業態度も落ち着いてくるが、50分フルに集中できるメンタル を養いたい。 ▲ 中学校段階では、将来の難関大学への進学という意識付けがふだんの授業 ではなかなかできていない。高校の進路指導的な内容をもっと取り入れたい。 ▲ ICTの学級での活用はできているが教科での導入と活用が十分ではない。 ・ テスト等の結果について共有し、授業改善に活かした。 ・ 朝読書を徹底し、学習につなげることを行っている。 ◇ タブレット端末を用いた効果をしっかりと確認したい。 ▲ 教科によっては授業時数が規定時数を下回っているものもある (社会科など)。次年度の計画時に見直してほしい。 ◇ ICT機器に教員が対応できていない部分がある。スタディマーカーを ロイロノートを活用して実施できるようになると、学習時間や学力状況を 生徒や家庭と共有しやすいかもしれない。 また、放課後プロジェクトの充実を昨年度と同程度には実施するべきでは ないか。 ▲ 英語に関して非常勤の先生と若手に任されているが、中高一貫校だからこそ 必要な6年間計画が教員同士で把握できていない。	A 0% B 100% C 0% D 0%	◇ タブレットの使用ルールとマナーについてももっと明確化してほしい。 ◇ スタディサプリの活用についてももっと検討してほしい。 ◇ タブレット活用やプロジェクト学習についてももっと検討してほしい。 ◇ 中高一貫の意識付けを継続してほしい。 ・ 明誠中しかできない授業内容のさらなる充実に期待したい。
外部模試等で 学力把握  在籍 J3 68名 J2 75名 J1 72名	① ベネッセ学力推移調査三科目受験と事後指導 64以上 60以上 50以上 40以上 J3 6% 4% 25% 44% J2 1% 5% 23% 32% J1 1% 1% 29% 44% J1は第一四半期後設定する。 ※ それぞれの数値は単純の数値を表す  ② 実力確認テスト(明誠高校入試)受験 J3:目標進路の学力水準達成70%以上 五科目 J2:基礎基本問題の習熟と確認 三科目  ③ 英検受験 年度末(2月)の時点 【J3 準2級以上 46% 3級 28%】 【J2 3級以上 40% 4級 49%】 【J1 4級以上 35% 5級 35%】 J1は第一四半期後目標設定する。  ※ それぞれの数値は単純の数値を表す ※ ( )内の数値は昨年度の数値を表す ④ 各試験結果受取後の一斉学級/学年指導 情報や目標の共有(中学部・高等部・教科担当)	① J3 9月② 58以上- 8% 45以上- 61% 40以上- 17% 4月① 58以上- 14% 45以上- 58% 40以上- 18% ボトムアップと上位層の拡大に課題が残った。数学の取り組みに貢献度が目立った。 数英の3グループ編成をさらに活用していく必要を感じる。もう少し早い対策が必要 だったと思う。 J2 1月③ 58以上- 10% 45以上- 45% 40以上- 20% 9月② 58以上- 13% 45以上- 46% 40以上- 10% 4月① 58以上- 11% 45以上- 40% 40以上- 22% 全体的に着実に向上したが、ボトムアップと上位層の拡大に課題が残った。 J3と同様の傾向があり、改善と向上に向けて毎日の授業レベルで新たに 施策が必要である。 J1 1月③ 58以上- 7% 45以上- 39% 40以上- 25% 9月② 58以上- 10% 45以上- 38% 40以上- 21% 4月① 58以上- 5% 45以上- 40% 40以上- 23% 上位層が若干向上したが、中位層の拡大とボトム層の減少を引き続き目指して いきたい。啓発を行いつつ、生徒別に目標を持たせて指導を明確にしたい。  ② J3 目標進路の学力水準達成率は約60%で目標を割った。要因は数学や社会の 難化と中下位層の社理の演習不足と思われる。啓発と動機づけについて 課題が残る。実力はもっと出せると思う。 上位層・中上位層が特に英数国に安定的に力を発揮した。社理は平均的で あり、対策や対応に課題が残る。  J2 既習事項に対して一通り解答していることを確認できた。 各層例年通りの内容成果であったと思われる。 3年進級時のスタートの切り方について啓発を含めて検討したい。また、 夏休み前から一斉指導を始めた方が良さそう。例年通りでは遅いだろう。  ③ J3 2月 2級- 4(9%) 準2級-38(16)% 3級-37(57)% 4級-16(12)% 5級-3(2)% 10月 2級- 3(5%) 準2級- 33(15)% 3級- 36(58)% 4級- 23(15)% 5級- 3(4)% 準1級- 0(1)% ボトムアップを達成した。一方最上位層の伸びは例年より弱まった。  J2 2月 2級-0(0)% 準2級-13(17)% 3級-36(41)% 4級-30(27)% 5級-19(10)% 10月 2級- 0(0)% 準2級- 7(12)% 3級- 30(28)% 4級- 40(31)% 5級- 20(13)% ボトムアップの成果を出しつつある。上位層の指導の手だてについては検討 (改善)事項である。  J1 2月 2級-0(0)% 準2級- 1(4)% 3級- 9(12)% 4級-33(36)% 5級-31(38)% 10月 2級- 0% 準2級- 1% 3級- 5% 4級- 12% 5級- 36% 各層層は昨年度より薄い。級外も多少目立つ。 ④ 何をいつからいつまでにといった「納期」の共通認識と一斉指導が不明瞭の傾向。	A 23% B 52% C 8% D 17%	・ 学習テストを行い、結果をもとに自分の実力の把握、今後の目標まで呼びかけ をしている。 ・ 年3回実施されるベネッセテストで各生徒の学力が細かく出るため、どの教員 も生徒の学力は把握できていると考える。 ◇ 学力の高低差ができにくいクラスになるような取り組みをお願いしたい。 ▲ 年間計画では実践し取り組んでいるが、結果のフィードバックとなると、十分な 活用ができていない。 ・ 英検は年々取得率が増えているようなので維持していきたい。 ◇ 夏課題や直前の授業で多少は対策を行えていると思う。ただ、普段の授業は ほとんど模試を意識できていない。 ・ 一定数の上位層はいるが、集団としてみたときに上下層の幅が広いと感じる。 ・ もっと積極的に行って良いのではないか。 ・ 高校教員としてどのタイミングでどの外部テストを行っているのか理解でき ていない。 ▲ 学力を把握することはできているが、それを改善につなげることはできて ていない。学力の向上(難関大学への進学)を求めて入学してくる保護者の 期待には答えられていないと感じる。 ・ 細かい点などは不明。	A 13% B 87% C 0% D 0%	・ テストや模試の回数が公立よりも多いため自分の立ち位置を把握しや すい。テスト慣れもできて良い。 ・ 学習テストの分析と改善点の把握が今後の生徒達の進路実績に つながる。 ◇ 各自の学力把握ができるようにテストの機会を増やすことも必要。	

I 知育の推進	生きる力や総合力を はぐくむ活動の設定	<p>① 学習・体験活動等とその目標成果の整理・広報・見える化・発表等の総合力育成の場を工夫設定 行事ごとの一斉指導 手立ての引き継ぎ ・MIRAI Project構想:企業と提携しキャリア教育推進 ・中学校体験入学プレゼンとツアー実施 J2 6月 ・母校訪問によるコミュニケーションとPR J1 7・8月 ・説明会のプレゼン担当や体験学習会の講師/助手 内進生J1～S1</p> <p>② 実行委員会を組織した委員会・生徒活動 実行委員会と委員会の主体的な目標設定・活動の 見える化</p> <p>③ 発達段階や興味を踏まえ、朝読書を奨励する。 ピリオパトル等発展的活動の取り組み 成果のアウトプットと共有、周知</p>	<p>① 前期前半足並みが揃わない時期もあったが、後期に入り自己振りがえりシートや 行事レポートの作成などスムーズに実践された。個性的で意欲的な掲示もよく 目立つようになった。各学年のねらい、年間の中のその都度のねらいを明確に し、共有することによって指導の精度を向上させ、心身の成長を促したい。</p> <p>② 高校部主導の定型化された活動に従事することが主だったが、生徒会、学習委員、 新聞委員など中学独自の取り組みや活動も主体的に実践された。潜在的にはまだ まだいけると思う。</p> <p>③ 朝読書の取り組みは引き続き継続するが、一人で読むだけではなく成果を比較共有 する機会を設けることにより、自他の理解や興味関心の向上を狙うことも大事。 学習や学究の意欲の高揚や集団育成にも繋がる。</p>	<p>A 32%</p> <p><b>B 46%</b></p> <p>C 5%</p> <p>D 17%</p>	<p>・ 様々な行事を通し、実践されていると思う。 ・ 自分たちが「なぜ？」という疑問をもちながら、自分で考えて判断できるように 工夫している。 ・ 道徳教育などで実践している。 ・ 週に1回行われる道徳の授業では、生徒の道徳心や生きる力を十分に育てら れていると考えている。また、各行事の計画や調べ学習などをタブレットで行 うことにより、生徒の自発性を引き出している。 ・ 出身小学校に自ら電話をし、アポイントをとって、報告会や明誠中学校の魅力を 伝えに行くのはとてもいい取り組みであると思った。 ・ 中学独自の生徒会活動が見られ、より活発になっている。 ・ 生徒が主体的に取り組んでいこうとする姿勢が多くみられたと思う。今後も 継続していきたい。 ・ 朝読書は行っているが、少し形骸化している部分も感じる。 ◇ イベントにおける応援合戦等に取り組んでいただけるとありがたい。 ・ 生きる力を育てているかどうかは不明であるが、学級担任を中心に、 LHR活動や道徳等の教科で実践している。</p>	<p>A 13%</p> <p><b>B 87%</b></p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p>	<p>・ 小学校訪問本人の自信にもつながったと思う。 ・ 朝読書で読書の習慣はついている。 ◇ 道徳について学ぶ機会がもっとあってもよいかと思う。 ◇ 朝読書を継続し、さらに充実させてほしい。 ・ 中学時代で大切な内容。継続的に充実させてほしい。</p>
	日本文化理解と 国際教養養成 (総合学習)	<p>① 日本文化理解行事実施【(2)回/年】 J1 自然体験、富士山学習、地域社会調べ・探訪 J2 寺社宿泊研修、企業探訪、地域・大都市探訪 J3 寺社・精神文化調べ、企業研修、地域・古都研修</p> <p>② 講演や交流会の実施・探求活動 J1 郷土・企業 J2 医療・企業・進路 J3 医療・企業・進路</p> <p>③ 英会話授業【週1回】とアウトプット実践 J1～J3</p> <p>④ 禅寺の活用</p> <p>⑤ 日本文化・国際教養講話/講演実施</p>	<p>① J1 4月国立青少年交流の家研修、10月久能山東照宮・静岡市沼上資源循環 /C見学。久々に久能山東照宮探訪が復活した。富士山学習の要素も あり、様々な観点から切りこんで学ぶと良いと思う。 J2 4月可睡斎宿泊研修、10月関西(奈良・京都・滋賀)オータムキャンプ。 シャープミュージアム研修(天理市)・三井寺研修・念珠製作体験(大津市)、 テーブルマナー学習(守山市宿泊ホテル)、立命館見学:職員による講座と 学生による校内ツアー(京都衣笠)、ヤンマープラザ見学:講座と体験学習 (長浜市)。昨年同様関西に変更、企業研修と大学研修が充実したが、 卒業生講演が未実施となったのが心残りであった。バス4台で往復。 J3 4月静岡県地震防災/C・ふじのくに地球環境史ミュージアム研修 10月関西修学旅行 昨年度同様4台のバスで往復した。 定番のポイントを押さえながら、独自性も狙った場面がみられた。修学旅行の 3日目は今年もタクシーを利用した。希望者には着物着付けも行った。見学 ルートに製作体験を設けたり、寺社以外の目的地を設けたり趣向を凝らす 展開も見られた。</p> <p>② J1 11月社会福祉講演、 J2 9月海洋講演実施、11月社会福祉講演、 J3 7月進路課長講座①、11月社会福祉講演、3月進路課長講座②予定 フィールドワーク以外にも地元の社会人の方の応援も要請したいところ。</p> <p>③ TT授業及びスピーチ指導を継続し、表現力の向上を図った。地味な部分だが、 着実に英語力の向上に貢献している。</p> <p>④ J2 4月可睡斎宿泊研修。10月三井寺探訪と念珠製作体験実施 4月の研修の意義は大きい(昨年度は実施できなかった)。学校生活や今後の 行事を実施する際の橋掛け・基盤となる。</p> <p>⑤ 9月にJ2対象に海洋講演を実施したが、オータムキャンプは関西方面となり、 横浜磯子のJMUでの実地研修は2年連続未実施となった。 これは本当に痛手である。</p>	<p>A 19%</p> <p><b>B 46%</b></p> <p>C 9%</p> <p>D 26%</p>	<p>・ 修学旅行や各学年で行われている課外活動を通じてよく学習している。 ・ 週に1回の英会話の授業では、普段学習している英語力を試す機会と なっており、英語(外国語)での会話をする事によって生徒の異文化理解 が出来ていると考える。 ・ 思いやりや、人情など、目に見えないところの良さを言葉にして伝えている。 ・ 今年度こそはコロナに影響されずに実施できることを期待したい。 ・ 国際的な教養の素養を、もっと身につけさせたい。藤枝市等の交流活動や 国際教養コースが実践している中学校版の実施等ができれば・・・。 ▲ コロナ禍でなかなかできていないがそろそろ代替案を実行しなければならない。 ◇ 可睡斎や修学旅行で日本文化を学ぶ機会はあるが、国際教養を学ぶ機会を 用意したい。</p>	<p>A 13%</p> <p><b>B 87%</b></p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p>	<p>◇ ICTの活用について検討してほしい。 ・ 課外活動が多く、生徒達は良い経験ができています。 ◇ 国際人になる前に日本文化理解につながる指導を検討したい。 ◇ 行事中の安全管理(特に自然災害)について検討したい。 ・ 生徒も職員も楽しんで学んでほしい。</p>
II 徳育の充実	基本的生活習慣の 確立・ 理解と自己評価	<p>① 身だしなみと挨拶の指導 校風検査【1回/月】</p> <p>② TPOに合わせた所作・マナー・学習態度等を 発達段階をふまえて指導検証する 打合せ、中学部会等にて 情報交換し一斉指導の手立てを共有する</p> <p>③ 私物貴重品管理(金銭、腕時計、スマホ・タブレット等) 整理整頓・清掃指導の徹底と振り返り</p> <p>④ 欠席・遅刻・早退の減少 基本的生活習慣の確認理解と維持</p> <p>⑤ 基本的生活習慣近況について情報発信</p>	<p>① 年度当初4月の全体集会指導は2年連続控えているが、再開の必要性も 感じている。月例校風検査は男女別で実施した。頭髪以外は担任による フォロー指導を行った。</p> <p>② 学年差が出ている面があり注意が必要。共通認識を保ちつつ、6年間 生徒を預けられていることを踏まえ、妥協しないで対面指導を行い育成 していきたい。</p> <p>③ 全体として一定水準以上の節度で指導が継続できたが、共通理解が 不十分な面もあり対策が求められる。</p> <p>④ 欠席・遅刻・早退は通年全体的には昨年度に比べ減少した。 一斉の啓発指導や共通理解の必要性を感じる。</p> <p>⑤ 通年部会等を主に近況を共有し、対策を検討した。生活アンケート等も非常に 役立った。</p>	<p>A 27%</p> <p><b>B 51%</b></p> <p>C 5%</p> <p>D 17%</p>	<p>・ 一人一人に寄り添っていると思われる。 ・ 学校がある意味の一つとして、生活習慣の習慣化。日ごろから、時間・あいさつ・ 態度に関して直接伝えるようにしている。 ・ 服装の乱れなどもなく、教室整備もされている。明るいはずらつとした生活の 様子が伺える。 ・ きめ細かい指導が実践されている。 ・ 朝の登校指導、誓いの言葉、黙想などにより、1日の学校生活のスタートを 落ち着いた雰囲気の中でおこなっている。 ▲ 挨拶の励行を徹底したい。こちらから挨拶しても返さない子がいる。 ・ 担任を中心に、実践している。校風検査等も定期的におこない躰教育もでき ているかと思う。 ▲ ネット依存調査では、ネット依存の観点から生活を乱している者が多くいた。 タブレットやICT端末を正しく使っていけるような指導を心掛けた。 ・ 落ち着いた生活ができてるのは中学部の先生の指導の賜物だと思う。 ▲ 休み時間に個人のパソコンでブラウザゲームをしている男子生徒が複数名 いることが気になる。 ▲ 改善の余地は多分にある。本校の生徒は世間一般と比べやや幼い印象を 受ける。そのためか指導が若干緩く感じる。 ・ 挨拶をしっかりとできるように、先生方が指導できている。 ▲ 私物管理や整理整頓、ルール等で教員間の認識に差があるように感じた。 共通認識をもっておく必要がある。</p>	<p>A 25%</p> <p><b>B 75%</b></p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p>	<p>・ 携帯を持っていけるようになったのはありがたい。 ◇ 校風検査を継続してほしい。 ・ ネット教育を早い時期から指導して頂きありがたい。 ◇ 生活習慣などについても啓発してほしい。 ◇ 挨拶をスムーズにできるようになってほしい。 ・ 全ての先生が自信をもってコメントできるようになってほしい。 ・ 携帯電話が許可申請制になり、保護者から感謝の声があがっている。</p>

	<p>特設道徳の充実と行動化</p>	<p>① 本校理念の浸透、一斉道徳講話実施【6回／年】</p> <p>② ボランティアの実施</p> <p>③ 自律性と社会性を培う場を設定し実践力行動力向上を図る リーダーシップ・フォロワーシップ涵養</p> <p>④ 交通マナーの指導と実践 交通安全教室実施</p> <p>⑤ 道徳教科書ノートを年間計画で使用 学習の記録を振り返り、共有する</p> <p>⑥ 情報端末使用時の人権問題啓発指導 講演実施と集会等で啓発指導</p> <p>⑦ 「いじめ」皆無の指導【調査3回／年】 三配りの精神の涵養</p> <p>⑧ 成果や伸長について情報発信</p>	<p>① J1～J3全体道徳はこれで2年連続未実施となり、過去に例がない状態となった。展開の仕方の工夫や学年実施等の施策が必要である。</p> <p>② ボランティア活動は2年連続未実施となった。 適切な範囲内での活動を模索計画する必要がある。</p> <p>③ 主要行事中心に団体行動を実施。機会は昨年同様減少したが実践機会を生かし目標の達成を目指した。</p> <p>④ 5月に交通安全教室を体育館で実施し、レクチャーを受けた。 昨年同様座学の展開となった。そろそろ工夫が必要かと思う。</p> <p>⑤ 年間計画に沿った運営には至っていない。全体と学年・学級の両輪での運営を復旧再構築していく必要がある。</p> <p>⑥ 7月NTT講師による携帯安全教室を実施し、SNS等の長所短所について全学年で学んだ。後期については未実施となった。次年度はタブレット端末導入もあり、年間2回以上の啓発機会を設けたい。</p> <p>⑦ 講師招聘による対人関係セミナーや検査等については今年度は未実施となった。日常の情報交換やアンケート等による状況把握による、未然防止が概ね功を奏したと思う。しかしながら火種はあるので常に注意を怠ってはならないと思う。</p> <p>⑧ 定例会での情報共有や通信・懇談会・面談を適宜機能させた。中学部通信の発行が特に目立った。取り組みを継続していきたい。</p>	<p>A 22%</p> <p><b>B 52%</b></p> <p>C 6%</p> <p>D 20%</p>	<p>・ 教科以外の学校行事、クラブ活動など生徒が楽しい、やりがいを見つけることに工夫をしている。またその中で道徳を培っていけるように促している。</p> <p>・ 道徳の授業では、グループワークなどを通して生徒の意見を引き出している。他の生徒の意見を聞くことで、新たな考えを持つことのできる生徒が多くと考える。</p> <p>・ 遅刻指導が少ない。</p> <p>・ 担任の技量に負うところが多いが、実践できている。</p> <p>◇ 発達段階に合わせた道徳を実施したい。</p>	<p>A 13%</p> <p><b>B 87%</b></p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p>	<p>▲ 保護者には何をやっているか伝わっていない部分もある。</p> <p>・ 外部講師を取り入れるなど工夫がある。検討は必要。</p> <p>◇ 交通マナーは毎回話題になる。学校側の指導と共に保護者への協力もお願いしたい。</p> <p>◇ 上級生をロールモデルとして見習わせる指導をお願いしたい。</p>
<p>II 徳育の充実</p>	<p>個の尊重と主体性の醸成</p>	<p>① 情報交換で個の把握【定例会実施】</p> <p>② メイセイダイアリの点検、熟読とコメント</p> <p>③ 個別指導には、養護・カウンセラー・生徒課等チームの活用</p> <p>④ 中学生生徒理解研修会【全職員で実施】 成長面・プラス面も共有</p> <p>⑤ 心理検査の実施と評価の活用</p> <p>⑥ 随時良い点や現れをフィードバック、全体で共有</p>	<p>① 日常的かつ定期的な情報交換により、生徒指導の対応が早くなった。 担任が問題を一人で抱えないようにフォローに配慮した。</p> <p>② 生活帳を有効に活用し、意思疎通や問題解決に効果的につなげた。 学校への安心感が向上し、学級運営や安全管理に貢献した。</p> <p>③ カウンセリングの活用が徐々に自然に進み、日常化した。 外部組織の知見の有効活用が浸透してきたと思う。</p> <p>④ 行動のあらわれを共有し、生徒理解の向上に努めた。 中高一貫の指導力向上に資する目的を確認したい。</p> <p>⑤ KJQの実施は本年度は見送りとなった。別の検査の採用も検討している。</p> <p>⑥ 職員間や家庭と学校間のコミュニケーションの風通しの良さが、協同して行く環境があったと思う。</p>	<p>A 18%</p> <p><b>B 58%</b></p> <p>C 5%</p> <p>D 19%</p>	<p>・ 自己肯定感を感じ、自ら行動できるようになっている。その中で自分の成長が皆の成長につながるよう呼びかけをしている。</p> <p>・ 各行事で中学生の主体的な活動が目立つようになった。また些細なトラブルもあるが互いに尊重し仲良く生活ができています。</p> <p>◇ メイセイダイアリは大いに書かせるべきだと考えています。</p> <p>・ 担任を中心に、クラス活動等で実践している。</p> <p>◇ 学習面や普段の生活の中で、自分あるいは相手を尊重することが苦手だという生徒がみられる。授業や学校生活の中で自ら進んで行動できるような態度を育てていきたい。</p> <p>◇ ダイアリーの確認や面談、アンケートなどで生徒の様子を確認し、家庭連絡を密に行っていると思うが、教員1人に対する負担が大きい。もっと情報を共有し連携していく状況をつくってきたい。</p> <p>・ 生徒理解研修について、支援や配慮が必要な生徒の情報共有は必要だが、全教員が対象である必要はあるのだろうか。</p>	<p>A 13%</p> <p><b>B 87%</b></p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p>	<p>・ 先生方の声掛けがとても大きな意味がある。ダイアリーの活用も継続してほしい。</p> <p>▲ メイセイダイアリの活用について要検討。担任によって温度差がある。</p> <p>◇ 心身共に一番成長する時期であり、学校と家庭の更なる連携を望む。</p> <p>◇ 中高一貫の特色をもっと生かしてほしい。</p>
<p>III 健康な体の育成</p>	<p>団体行事の用意 (団体行動や行事運営の基本も学習)</p>	<p>① スポーツデイ実施【参加率98%以上、(2)回／年】 相手・チームメイト・周囲への理解・敬意調和と切磋琢磨</p> <p>② 耐寒持久走取り組みによる身心の錬磨 事前の安定した生活習慣・体育での的確な準備啓発【参加率95%以上】</p> <p>③ 体育大会／中学部運動会の活用 チームワーク醸成・団体種目の記録向上</p> <p>④ 武道奨励 時数の確保 武道実施ねらいの理解と浸透</p> <p>⑤ 部活動奨励【参加率85%以上】</p> <p>⑥ ダンスデイ実施 明朗快活爽やかで、円滑かつ規律ある運行 周囲への理解と感謝の気持ち</p>	<p>① 7月 サッカー(男子)とドッジボール(女子)を実施。 3月 サッカー(男子)とサッカー(女子)を実施予定。 毎回全学年意欲的に取り組み、切磋琢磨できたと思う。 全体参加率: 97 %</p> <p>② コロナの影響で延期となり、さらには栃山川外周コース中止の運びとなった。通常の体育の授業での学年ごとのランニングを実施。ひと月前からの練習によってランニング量は確保されていた。生徒達も概ね真面目に取り組んでいた。</p> <p>③ 行進が本年度も中止になり、本校らしさが薄れた印象があった。全般的に控えめではあるが、きちんと競技はできたと感じる。現状下では仕方ないが、生徒達が気の毒に思われる面があった。</p> <p>④ 男子は柔道、女子は剣道の指導を実施した。 ねらいの理解と浸透について手だてを引き続き検討していきたい。</p> <p>⑤ スクールカラーを涵養し、集団育成する好機として参加を促している。 加入率: J11: 74%、J12: 97%、J21: 97%、J22: 89%、J31: 97% J32: 92% 全体: 91% 前年度より3%増加。 概ね参加意欲が高く、生活にも良い影響を与えていると感じる。</p> <p>⑥ 12月8日(水)延期後実施。参観者は110名超で例年の約3割増し。 コロナ対策を行い、参観者は無論、生徒も意識良く行動できた。 節度を保ち明るく活発に演技と鑑賞を楽しむことができた。 進行面も円滑だった。前後の挨拶を工夫した方がさらによい印象がある。</p>	<p>A 40%</p> <p><b>B 49%</b></p> <p>C 2%</p> <p>D 9%</p>	<p>◇ 文化祭時に仮装が容認されているのだから、中学時での行事でも積極的に取り入れて行くべきだと思います。</p> <p>・ 様々な行事の中できめ細かに実践されていると思われる。</p> <p>・ ふだんの授業等の実践と、MDの時間帯でも行事をこなしている。</p> <p>・ できない生徒を笑うのではなく、応援し、できないけどやってみようかなという環境作りを工夫している。</p> <p>◇ 例年よりも部活動が盛況(中学テニス43名)。もう少し人手が欲しい。</p> <p>・ 体育大会の行進練習など積極的に取り組み、呼吸を合わせることで足が揃うようになった。</p> <p>・ コロナの影響によりスポーツデイが中止となった。しかしながら、サッカーの授業ではお互いが真剣に取り組んでいた。</p> <p>・ 可睡齋など本校の特色あふれる行事が実践されてる。</p> <p>・ 生徒が主体となって行事の運営ができています。</p> <p>・ 主体性を持った生徒は行事の企画運営に積極的に取り組んでいる反面、他の生徒は無関心であったり、人に何かを押し付けることが多くみられる。集団で取り組んでいけるような態度を育てていきたい。</p> <p>・ コロナの影響が大きいなか、様々な工夫や対策で形をかえながら実施することができたと感じている。</p>	<p>A 25%</p> <p><b>B 75%</b></p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p>	<p>・ 部活動が充実している。中学生だと連絡のやりとりが難しいと感じるところもある。</p> <p>・ コロナの中でも行事等工夫や努力をされている。</p> <p>・ 文化祭行事など中高共有できる部分はありがたい。</p>

IV 豊かな生活の 追及	特別活動や課外活動 の準備と充実	<p>① キャリア教育の一斉の主体的計画的取り組み 探求.MIRAI Project MD内に設定</p> <p>② 青藍祭に、部・学年・学級で参加 創る力や実践力を磨く場とする リーダーシップ・フォロワーシップ涵養 展示物には価値観教育への成果を記す</p> <p>③ フィールドワーク【(2)回/年】、芸術鑑賞 自身の思考力や発想力向上に資する体験 学習を行う。事前事後指導の充実。</p> <p>④ 行事や活動のまとめと発表・展示 学びについて自己分析し、学校・日常生活の改善 に向けてヒントを得る。</p> <p>⑤ 学習集団の向上(行事・授業等活用) プレゼンや議論を活かし、コミュニケーション 力や創意工夫する力、洞察力を上げる。 学年混成集団で活動することにより、自他への 関心を深め、共通体験の価値の理解を深める</p> <p>⑥ 各種団体の文芸コンテストに参加 想像力を発揮し、自他の理解を深め、お互いに 学び合う仲間であることを自覚する。</p> <p>⑦ 自分の長所・短所について行事ごとに振り返り、 自尊感情や自己有用感獲得に繋がるヒントを得る。</p>	<p>① MDの年間計画を主要行事に前後してより明確にし、共有したい。 FWの活用と発達段階に合わせた取り組みをこつこつと行いたい。</p> <p>② 全学年展示活動を実施、J1・J2はオリエンテーションキャンプ・可睡齋に、 J3は職員プロフィールに焦点をあて、学校理解とPRIにつながった。 自身や周囲の人間に対し見つめ直し、集団育成する機会となった。</p> <p>③ 4月(昨年度未実施)と10月に予定通り主要行事を実施することができた。 それぞれタイムリーに事前事後指導を行い、生徒たちに考察をきちんと 促した。主要行事の重要性を再認識した。 芸術鑑賞教室ではBAND「二人目のジャイアン」によるライブ演奏が行われた。 本校校歌のリミックスが披露されたり、ライブ活動に興じたりしながら 全校生徒が共通体験することの意義を考えるきっかけとなった。</p> <p>④ ワークシート作成が夏休み前後から充実していったと思う。 良い振り返りをする者や個性的なシートに仕上げていく者など 今までにない面もみられた。振り返る内容についてはまだまだ検討の余地が ある。学級・学年でよく話し合いながら、学びを高めていく必要がある。</p> <p>⑤ 中学部や学年の目標は経営目標として設定されている。それに時宜を 考慮して重点目標などそれぞれ設定していくわけだが、一つ一つの活動が それに沿ったものであるのか、何処に向かおうとしているのか、何を掴み繫げ ていこうとしているの折々考える必要がある。スポット企画になると教育効果 は薄れやすいのでここは特に注意しなければならない。</p> <p>⑥ 定番コンテストで入選を果たし成果を実感できた。発表鑑賞する機会を設け 集団育成を促進するチャンスにしたい。こどもとも大事である。</p> <p>⑦ ワークシートの自己分析において、「自分は～するようになった。」、 「他者の～を～考えるようになった。」などといった到達点を表現させ、 見聞に終始しないよう活動や行事の振り返りを行わせたい。</p>	<p>A 34%</p> <p><b>B 50%</b></p> <p>C 2%</p> <p>D 14%</p>	<p>・生徒が話し合い助け合えるように、工夫をしている。</p> <p>・タブレットを活用することによって、生徒の様子を把握しやすくなった。 生徒たちも前向きに取り組んでいるように感じる。</p> <p>・部活動は積極的かつ熱心に参加してくれております。実力も練習ごとに みるみる付けており、気力も充分です。</p> <p>・担任の技量に負うところが多いが、個々に実践がなされている。</p> <p>・課外活動後の振り返りを大切に、目標のために自分たちがやってきたこと、 次回に向けての発展も考えている。</p> <p>◇ 課外活動を経験したことで生徒自身が成長を実感できるような取り組みに していきたい。</p>	<p>A 25%</p> <p><b>B 75%</b></p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p>	<p>・取り組みが様々なものにわたり、工夫がみられる。</p> <p>・きめ細かい指導が実践されていることが分かる。</p> <p>・主体性を感じる。</p> <p>・これからの自信につながる活動だと思う。</p>
V 家庭・地域との 連携	対話の増加	<p>① 面談の奨励(希望面談も用意)【4回/年】</p> <p>② 懇談会・保護者会等実施</p> <p>③ 行事関係文書・アンケート等配布・配信 【2週間以上前】</p> <p>④ 内進高校生の情報も含め生徒・中学部近況の発信 中学部だよりや説明会等の活用</p>	<p>① 4月新年度個別面談①、8月夏休み三者面談、11月個別面談②、 6月(コロナ中止)・11月オープンキャンパス中希望面談、11月～2月個別面談 による進級指導実施。O/Cが一回減少したが、面談機会は確保できた。</p> <p>② 6月 地区別懇談会(交通安全対策・夏期の準備)、 9月 J3修学旅行説明会(学年懇談会・進級準備含む) 2月 学年学級懇談会 参加率6～8割前後で減少傾向。</p> <p>③ 各行事2週間前後前に通知を配布。また、今年度はさくら連絡網による 通知を有効に活用することができた。通知の方法については、検討し 工夫していけると思う。</p> <p>④ 7月と3月J3対象に進路課長講演会実施。進学の基本や現状について 説明してもらい、目標の再確認と進路意識の高揚を図った。 内進生独自の進路ガイダンスの在り方を探りたい。 やはり全学年対象であることが望ましい。啓発機会は早い段階から確保 していきたい。</p>	<p>A 29%</p> <p><b>B 43%</b></p> <p>C 8%</p> <p>D 20%</p>	<p>・家庭との連絡が密に行われていると思う。</p> <p>・家族との会話に関しては自分のエピソードとともに、どのようにしていくのかを 生徒が見直せる機会を作っている。</p> <p>・土曜日等、地域の行事の手伝いをするのも良いかと思えます。</p> <p>・ふだんはクラス担任を中心に、また保護者に対しては保護者会等を通じて 接点を見いだしている。</p> <p>・家庭との連携は良く取れていると思う。</p> <p>◇ ネット依存調査なので、スマホの使用に依存している生徒が多かったことから、 それらの生徒の家庭での対話の時間は減少していると考えられる。 正しい生活習慣の指導を徹底し、教員やご家族とのコミュニケーションを 大切にしよう指導していきたい。</p> <p>・各家庭とのコミュニケーションを共有して、フィードバックできるシステム作りが 必要と思われる。</p> <p>・対話というよりも、問題を起こさないための予防線を張ることに終始している ように感じる。</p> <p>・共働きの保護者も多く、家庭環境からたびたび来校することが困難な家庭も あるため、回数は要検討。</p>	<p>A 25%</p> <p><b>B 75%</b></p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p>	<p>・しっかりと連絡がもらえるので助かっている。</p> <p>・保護者にも学校の様子がわかるような機会があり、家庭でも指導が しやすくなる。</p> <p>・他校と比べ、家庭との連絡がとれていて、保護者の安心につながっている。</p> <p>◇ 保護者は学校生活の内容について多くを知りたいと願っている。</p>
	広報活動の充実	<p>① 中高通信文書等の発行【5回以上/年】</p> <p>② 子供安全連絡網・SNSの活用 さくら連絡網・ロイロ</p> <p>③ オープンキャンパスや説明会等でのアンケート実施</p> <p>④ 行事や発表会の開放</p>	<p>① 定期的に時節の学校活動の近況とそれにまつわるニュース・エピソード等を 紹介し、啓発と学校理解を促しつつ、PRや広報もきちんと確保し充実した。</p> <p>② コロナ対応等、行事予定変更に関する保護者への連絡手段として活用し、 とてもよく機能した。無くてはならないものになっている。</p> <p>③ アンケート内の各意見・提案や質問に対し適切に対応した。 参加率は50%前後で推移している。</p> <p>④ 体育大会、ダンスデイ、体験学習、FW報告会など開放した。通知を配布し 参加を促した。体育大会やダンスデイなど除き、参観者は必ずしも多いとは 言えないが、関心の強さを毎年感じている。</p>	<p>A 35%</p> <p><b>B 42%</b></p> <p>C 8%</p> <p>D 15%</p>	<p>・多角的に行われている。</p> <p>・地域のイベントでの対応の仕方、イメージアップにつなげられるよう尽力を 尽くしている。</p> <p>・体験授業や説明会などを通じ、小学生と保護者に広く周知されている。</p> <p>・オープンテストや体験授業、講習会では毎度多くの小学生や保護者が参加を して下さることから、広報活動は充実していると考ええる。</p> <p>・連絡網がうまく機能していると思う。</p> <p>・模擬授業や説明会への参加者の人数の多さが目立つ。</p> <p>・特に母親へのアプローチが子どもの進路決定に大きな効果を与えると考える。</p> <p>・オープンテストや体験学習など活発である。</p> <p>・十分行われていると考えています。</p> <p>・行事や発表会には一定数の保護者が参観に来るため、開放していくことは PRIにつながっていると感じる。</p> <p>▲ PTA広報誌のさらなる誌面の充実と、発行回数を増加させてもよいかと思う。 学校のHPにおいて、日常の活動をもっとUPすべきかと思う。</p> <p>▲ 現時点で中学部通信が5月を最後に発行されていないため、保護者からの 問い合わせが数件あった。行事に関しては後期に多く実施が計画されてい るので保護者も巻き込みながら楽しく充実したものにしていきたい。</p> <p>◇ もっと明誠中のストロングポイントを前面に押し出してよい。</p>	<p>A 13%</p> <p><b>B 87%</b></p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p>	<p>・オープンキャンパスの回数が多く、参加しやすい。</p> <p>▲ 中学部通信が滞っていることに気づいた。</p> <p>◇ オープンキャンパスなどもっとPRがあっても良い。</p>

VI 生徒募集	渉外活動の充実	<p>① 説明会、体験学習会・講習会等実施 オープンテスト実施 アンケート結果の活用(改善・FB・PR等) 現役生徒の活用</p> <p>② 小学校や塾への渉外活動</p> <p>③ 各種行事の活用</p> <p>④ リーフレット・ポスター作成</p>	<p>① ・説明会 7/3 :31世帯, 7/31 :延べ66, 8/21 :延べ49 9/18 :延べ約100, 11/6 :延べ約110, オープンや体験学習会と同時開催し、興味関心を高めた。 世帯数は延べ数の6～8割くらい。児童・保護者を共に学校に引き付け学校理解を深め、かつPR効果を高める意味は大きい。 ・6年体験学習会 8/21 :37 前年比 76% ・講習会 9/15 :46名, 10/13 :69, 10月が特に盛況 前年比 102% ・オープン①7/31 :71名, ②9/18 :103名, ③11/6 :99名 前年比 109% ②③が特に盛況であった。 ・入試 一次 83 :単71 併12 二次 2 :単2 前年比 97% 募集定員70名になり4年目、72名入学予定。6年連続定員を満たしている。 併願が9名減少、単願率が75%から86%に増加。女子は35%から40%に増加。 リーフレット・Tel・e-mail等の事前申し込みとタイムリーなDMとTeによる勧誘相談活動を展開した。昨年同様入試で多少敬遠された可能性はある。  ・4・5年説明会 7/17 :延べ約90, 10/30 :延べ約80, 2/26 :延べ約95 ・4・5年体験学習会 英語10/30 :54 前年比138% 理科 7/17 :73, 2/26 :89 前年比105% 4・5年生の共感関心を高めるタッチや手だては、保護者の共感や関心をよく促し、各機会盛況となった。次年度以降の成果も期待したい。 アンケートや行事の動画のフィードバックも大いに共感アップに役立った。  ② 小学校訪問約100校 6月(学園祭前)・7月(夏面談前)・2月(学習会前)の3回を基本として訪問した。 志穂・小笠・静岡地区の有名個人塾を訪問。学校案内・入試行事リーフレット・学園祭/体験学習案内・通学バス案内・通学費補助案内等配布。 ③ 学園祭や定期演奏会は学校関係招待者のみの対応となった。 ④ 入試行事年間予定リーフレットに加え、各種リーフレット(講習会・オープンテスト・体験学習会・通学補助支給等)をひと月以上前から送付配布した。 A3版体験学習会用自家製ポスターを校内外で掲示推進した。</p>	<p>A 51% B 38% C 3% D 8%</p> <p>・充実していると考えています。 ・部活を通して、名に恥じぬよう行動している。 ・学校訪問、塾訪問、説明会、体験授業など積極的に行われている。 ・理科の体験授業など大変充実している。 ・体験授業・講習会などを行うことによって、多くの小学生およびその保護者に本校のことを知っていただけていると考える。 ・体験授業等の集客は、数字を見る限り評価に値する。 ・オープンテストや説明会は毎回盛況であると思います。 ◇ 理科体験といった気軽に参加できる所から明誠に興味を持っていただくアプローチはこれからも続けていってほしい。 ・オープンテストが今年も盛況。 ◇ 本校受験を考える保護者、特に母親に理解していただける渉外活動が一層必要だと考える。 ・年に何度も学校説明会やオープンテストを実施されている。中学の先生方の尽力には頭が下がる。 ・休業日や学校訪問等、募集活動に力を入れているように感じる。 ・体験学習会なども多く開催されている。 ◇ 現状ではよくやっているかと思うが、個別の各説明会のフィードバックが不足しているかと思われる。 ▲ 集める生徒像がない。 ◇ 説明会を数多く実施し、一定数の参加者があったが、回数を重ねるなかで内容に新しさがなかった。回ごとにテーマを決めるなどの工夫が必要かもしれない。</p>	<p>A 38% B 62% C 0% D 0%</p> <p>・理科の体験授業など生徒が参加しやすい機会があり、良いきっかけになっている。 ・各行事よく工夫されていると感じる。 ・各種発行物など充実していると思う。 ◇ ヴィジョンを明確にしたらどうか。 ・大変な努力をされていると思う。</p>
VII 教育施設・設備の活用	快適な教育環境の実現	<p>① 教室内外整理整頓、施設管理、電源管理の徹底、管理目的の理解【放課後巡回 複数回/日】</p> <p>② 駐輪場管理</p> <p>③ 設備・備品の保全【放課後巡回 複数回/日】</p> <p>④ 防災教育と訓練の実施【2回/年】</p>	<p>① 学級や学年集会等にて、身の管理・整理について指導を継続した。概ね例年通り一定の水準を維持した。ねらいの理解には課題がまだ残った。内部進学生として何を理解させ、実践させていくのかといった視点を常に念頭に置く必要がある。 ② 駐輪場の整備により駐輪方法が標準化されたが、男女ギャップが生じていた。中学生徒会を中心に立案し、駐輪方法について主体的に立案提案し、改善を施した。 ③ HR・集会指導や放課後巡回指導を行い、啓発と保全に努めた。本館男子トイレの使用に際して、時折粗相が見られた。 ④ 5月防災避難訓練実施。二次避難実施。 9月防災避難訓練実施。略式で、一次避難・安全点検のみ。二次避難未実施。</p>	<p>A 19% B 49% C 18% D 14%</p> <p>・各教室にプロジェクターが設置されたことから、様々な教材が使えるようになった。また、中学1年生・2年生が各自のタブレットを持つことで、家庭学習を把握しやすくなった。 ◇ 各クラスで花を育てるようにしたら良いかと思います。 ◇ 長いスパンで見れば、静岡市内等の他の私立学校のように、新校舎建立のビジョンがあってもよいのではないかと。 ・設備に関しては、足りないところがある。しかし、その中で工夫をしながらできている。 ▲ 空調設備の充実、各施設、設備の定期的な点検や修繕が必要である。 ・ Chrome Bookが有効活用できているのか報告があると嬉しい。 ◇ 照明やエアコンの消し忘れを二度ほど見かけた。いずれも2年生の教室だった。 ・ 一人一台パソコンを取り入れ、現代的に行えている。 ・ 年間通じてある程度の整頓がみられた。 ・ 毎年夏場のエアコンの不調、教室、職員室のLED化などなかなか進まない。 ▲ 空調設備の充実が待たれる。 ・ 空調の悪さ、雨の日の校舎内の滑りやすさ、体育館への移動など快適な環境とは言い難い。 ・ 2F本館男子トイレの使用方法が良くなかった。(便座用消毒液のボトルに入っていた等が複数回あった)</p>	<p>A 0% B 87% C 13% D 0%</p> <p>◇ 改善点はあるが、今の環境に対しても感謝の心を忘れないようにしたい。 ▲ 空調の改善は大きな課題となっている。 ▲ ICT教育はまだまだ遅れている。 ◇ 設備の充実を引き続きお願いしたい。</p>